

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	川崎市子ども発達・相談センター まあれ中原		
○保護者評価実施期間	令和7年4月1日		～ 令和7年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	100	(回答者数) 64
○従業者評価実施期間	令和8年1月1日		～ 令和8年3月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月21日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な職種、見立てのできる専門性のある職員が対応	色々な視点でお子さんへ関わり発達を促していく支援を考えている。 連携している事業所(療育センター、各地区の子ども発達相談センター)の職員との連絡会や交流を通して療育向上を目指している。	必要に応じて連絡会や会議の設定 安定したお子さんの見立てる専門性の強化
2	親子療育のため職員と一緒にお子さんの成長を確認できる	保護者向けの懇談会(勉強会)の設定 個別面談の設定によりお子さん像をつかみやすくする	回数や内容の精査をしていく。
3	短期間療育、小集団療育	決められたメンバーと決められた回数の中で課題に参加することでお子さんの得意不得意を知り、対応と一緒に考えていく。	プログラムを充実できるような内容の検討、考察を行っている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	親子療育	保護者様の就労状況等により日程のすり合わせが難しいことがある。	クラスに応じたプログラムの内容の充実化を図る。
2	短期間療育、小集団療育	終了期間があることで継続的な通園はできない。	地域へつなぐ橋渡しとなる支援を考えていく。
3	地域連携	地域連携の内容がまだ統一されていない。	アフターフォローや新規事業所・園へのご挨拶などを通して子発を知っていただく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 川崎市子ども発達・相談センター まあれ中原

公表日 令和8年 3月 25日

集計期間 令和7年4月～12月31日

利用児童数 100名

回収数 64枚

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	61	3	0	0	・4～5人で遊ばそう。 ・机上の作業だけでなく、サーキットもできる十分な広さであった。 ・以前の施設に比べて狭く窮屈に感じる。しかし先生方はとてもよく工夫してくださっていると思う。	ありがとうございます。私も楽しくお子さん成長を知ることができ嬉しいです。□
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	63	1	0	0	・少人数のおかげでたくさん先生方に関わってもらえます。 ・2:1程度で十分だと思う。・十分に目が行き届いていると思います。 ・下の子の面倒もみてくれるので安心してクラスに取り組めた。 ・親が同様なので職員2人でもできていくのかなという印象。	私も安心してお子さんが過ごせるよう設定させていただいております。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	64	1	0	0	・廊下の所入ってはタヌキ部屋には×の給があり痛みも理解できてました。 ・カーテンで外観をささげたり、壁にも貼らないなどこちらが勉強になる。 ・トイレの子ども便座も子どもが自分で用意出来るようになっていて良い。 ・エポックに移転後多少動きずらさを感じる。(レイアウト) ・大雨の影響でエレベーターが使えないことなど事前に連絡くださいました。	移転後不慣れなことが多かったと思いますが理解していただきありがとうございます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	64	0	0	0	・清潔でわかりやすく、職員の数も多いので安心して参加できる。 ・広く、きれいで安心して通っています。	ありがとうございます。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	57	3	1	2	・職員さんが子ども一人一人をよく見てくれている。 ・親子学習という形式をとって子どもの成長や課題点を実際に職員と共有できるのは非常に大きなメリットと感じました。 ・この情報に合わせて解決方法を教えてくれてありがたい。 ・毎回実施するプログラムは専門性を感じたが具体的なアドバイスが得られないケースがあった。	時間に限りがある中で話をお聞きすることが難しい場合がありご不便をおかけいたしました。別日設定やお電話等でご相談もできますので、お気軽にお声かけください。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	62	0	0	2		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	62	2	0	0	・最初に面談、検査をとでも丁寧にさせていただきフィードバックに	ありがとうございます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	58	3	0	3	・GLの詳細は分かりませんが、支援に必要な項目が設定されている	ありがとうございます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	59	2	1	1	無記入1 ・保護者支援、移行支援については何も支援いただいていない。	ご意見ありがとうございます。利用後のアフターフォロー支援も行っております。お気軽にお声かけください。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	55	4	1	4	・毎週プログラムを変えていく。ペアとなる子どもたちも変化させてよく観察している。 ・以前行ったプログラムと新しいプログラムが良い情報で組み合わせられて子どもの興味も少ない。 ・繰り返しの内容、新しいもの、新しいものをミックスしているの本人のできたがよく感じられてよかった。 ・慣れてきて楽しさも味わえていると思ったあの楽しい運動を行ってくれている。 ・内容がほぼ同じ。	ありがとうございます。今後も見通しの持てる課題設定を考えていきたいと思います。
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	29	2	15	16	無記入2 ・この事業所内において同じクラスにいた方々という意味で。	
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	63	0	0	0	無記入1 ・いつも親身になって相談のしてくるので助かってる。	日々連携を図りながら携わっていききたいと思えます。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	64	0	0	0	④の回答 無記入1 ・年度末ということもあるためプログラム終了後でも開催が決定後教えてほしい。 ・なかなか聞く機会が少ないお話を聞いて大変勉強になっている。 ・療育センターの方のお話しがとてもよかったです。 ・保護者向けの時間がありました。支援員の方とお話があったからです。 ・自宅での取り組みに沿って話してくれたのでためになった。 ・チラシなど、申し込みの案内があるとより良いと思いました。 ・初めに詳しいフィードバックすべき。	ご意見ありがとうございます。
	14 事業所では、家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	55	3	0	5	・フリードリンクをこまめにしてくれるので安心感がとてもある。 ・できるようになったこと、気をつけた方がいい事を都度伝えてくれる。 ・話したことがない。(NUIは話すそらですか)	ご意見ありがとうございます。日々連携を図りながら携わっていききたいと思えます。□
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	61	1	1	1	・的確な助言をもらえて育児の励みになっている。 ・家族の事も含め親身に相談に乗って頂きありがとうございます。 ・いつも活動の開始前、終了後に職員とお話できる機会がありました。	ありがとうございます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	58	3	1	2	・毎回丁寧な振り返りを頂き感謝しています。 ・いつも笑顔でかえりてくれるので子にとって安心がすごい。 ・私や夫の考えに背中を押していただいた上に更にこうすると良いなどアドバイスをいただくことも助かりました。	ありがとうございます。私もも皆さんといろいろなお話をお聞きしながらお子さんの成長について共有できてうれしく思っております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	62	2	0	0	無記入1 ・まあれに来ている理由が発達支援となると積極的に交流しようとは思わない気がする。	ご意見ありがとうございます。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	12	15	24			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	56	3	1	2	無記入3	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	58	1	0	2	無記入2	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19	6	4	31	無記入3 ・当日やる事は紙面でもらっています。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	57	0	0	4	無記入3 ・個人情報の取り扱いはできて当然の事。聞く内容ではない。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	46	4	2	11	無記入3 ・マニュアルはあると思いますが周知はされていないのでどのように訓練してるかわからない。	時間に限りがある中で情報がたくさんとなってしまうこともありご不便をおかけしております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	31	6	1	24	無記入3 ・10回と少ない中で上手く行っている。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	49	2	2	9	無記入3 ・周知された記憶なし。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	36	2	2	22	無記入3 ・特に事故など発生しなかったためわかりません。 ・説明された記憶なし。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	62	0	0	0	無記入2 ・行くことを本人も楽しみにしています。 ・職員の方の配慮のおかげですぐに馴染めました。 ・嫌がることなく通所できている。 ・通うたびにどんどん心を開いているのを感じました。	ありがとうございます。私も毎回楽しみにしております。利用後も気にかけて顔見せ来てくださる方もいてとてもうれしいです。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	56	6	0	0	無記入2 ・通所日ではない日も「行きたい」と言って毎週楽しみにしています。 ・通所する日であることが分かるのと大喜びです。 ・前回の遊びを楽しみにしている時も、何をやるのかなとワクワクした不安のある時もある。 ・行きたいって感じてほしくない。	ありがとうございます。安心できる環境づくりに努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	58	3	1	0	無記入2 ・このプログラムに参加できたことに感謝します。ありがとうございます。 ・子ども、家族、移行支援までで大満足しています。 ・通所を始めて良かったと思っています。 ・保護者の考えや理解の深さに至らなかった。期間も短いこともある。 ・通っている時点での退所だけでなく退所が終了した後のアドバイスまでいただけて良かったと大変満足しています。	皆様のご協力があってこそ充実した時間となりました。感謝しております。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		川崎市子ども発達・相談センター まあれ中原		公表日		令和8年 3月 25日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		余裕がある日とそうでない日がある。人数によって部屋が狭く感じるが、曜日によってレイアウトを変更して行っている。	余裕がある日とそうでない日がある。人数によって部屋が狭く感じる。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		職員の予定を意識しながらプログラムの設定する	時と場合。園訪問や面談対応、お子さんの様子で対応人数が変わってしまう。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		意見ボックスを設置し、匿名で意見が確認できるようにしている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	2	各会議等で意見を出し合い改善に努めている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		法人内研修の他に必要に応じた研修の設定をしている		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		打ち合わせ等、クラスや個々の話し合いの時間を作っている		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		その都度、クラスの成長に合わせて設定している		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		お子さんの課題に合わせてプログラムの立案をしている。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		発達段階に応じてペア活動やグループ活動を設定することがある	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		保護者へ配布するプリントを使用して職員の当日の動きの確認を行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		全体の振り返りと個々の振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	4	現在、該当児がいない。いる場合は、行っていけるとよい。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	3	2		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	2	3		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1	2		
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5		事業所連絡会への参加や電話でのやりとり、見学に参加させていただいた。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	開所して間もないため機会がありません。事業所の役割として設定していない。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5				
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5				
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5				

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		保護者勉強会や懇談会の設定を行っている。	回数や内容の検討は必要
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	2	3		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	2	オリエンテーション等設定された時間に必要な情報をお伝えしている。
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		プロフィール表等を通してお子さんの健康状態を把握している	
48		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2		
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
50		子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		件数の報告と今後に向けた対策を話し合っている	
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待防止に関する研修への参加をしてる	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5				